

鳥羽市／鳥羽駅周辺エリア再生ビジョン策定業務

第3回検討部会(ワークショップ)の進め方

将来像・テーマ／目標を考える検討アプローチ

上位・関連計画の
将来像・目標等

現況調査・分析

市民アンケート調査
来訪者アンケート調査
高校生アンケート調査
インタビュー調査
現状の課題 等

予想される
2050年の未来社会
未来のまちづくり

将来の
**駅周辺エリアの利用者
が望むこと**

鳥羽駅周辺エリアの
将来像（目指すべき姿）

これからのまちづくりの
テーマ・目標

なぜ「将来の駅周辺エリアの利用者が望むこと」を考えるか

～各種調査から抽出した導入が望まれるサービス・施設～

個別インタビューより

- 中心市街地に望む施設・サービス(来訪者だけでなく従業員の目線からも)
 - ・宿泊者が望む需要をもとに、その他の多様な目線(例えば、市民・若者・スタッフなどの目線)も忘れずに、必要な機能やサービスを考えたい。
 - ・歩きたくなる機能が必要である。例えば、海から町につながる歩道橋や海底トンネルなど。
 - ・気軽に宿泊まりできる施設が欲しい。ゲストハウス、ビジネスホテルやシティホテルなど。
 - ・公園、学校、病院、託児所など働き手をサポートできる施設などの公共公益施設を整備してほしい。旧鳥羽小中学校を週末保育施設として再利用してほしい。
 - ・家電や薬局などの生活必需品の販売店が欲しい。
 - ・コンビニが必要である。一方で、コンビニは治安が悪くなるため反対という意見もある。
 - ・飲食チェーン店が欲しい。
 - ・短期就労者向けの住宅。「おてつたび[®]」のサービスが活用しやすい。旅館専用の寮は存在するが、地域の施設間で共有できるとよりよい。
 - ・城山公園は、天守閣の復元をしてほしい。温浴施設、アスレチックやハンモックがある公園が欲しい。
 - ・駅西側にエレベーター・エスカレーターを設置してほしい。
- 佐田浜地区の再生に望むこと
 - ・「港」を活かしたものにすべきである。
 - ・交通拠点として、徒歩でのアクセシビリティが高いなどの利便性を確保すべきである。海を見ながら、歩くのが楽しいと思えるような空間をつくる必要がある。
 - ・鳥羽水族館やミキモト真珠島に並ぶ次の観光施設が欲しい。目的地となりうるような目玉要素や、観光客に魅力を発信するプログラムなど。在住者向けの娯楽機能も兼ねた施設。観光関連の主要プレーヤーが集まって、みんなが同じ方向を向くための場。
 - ・車で呼び込めるような街。
 - ・ナイトタイムエコノミー、夜間ライトアップ、夜市の開催、音楽フェスティバル。
 - ・地元の子供たちが遊べる環境。ショッピングモール、キッズパーク。インライン、スケートボードパーク。
 - ・温浴施設(観光客向け)。足湯パーク。海が見えるスーパースポーツ。
 - ・駅から港までつながるアーケード(雨天や猛暑でも歩いて行動できる)
 - ・ヨットハーバー・マリナー。高級志向の層を取り込み、南鳥羽・関東・名古屋とつながる。
 - ・豪華客船の利用者をターゲットとした免税店の整備。
 - ・マリネジヤの集約。
 - ・離島住民向けのサービスの提供。定期船の最終便を乗り過ごした人のための簡易宿の整備。定期船の待ち時間にひまふしでできるようなサービスの提供など。
 - ・答志島架橋と連動した空間づくり。
 - ・漁協直営「とどみ」(ランチのみ営業で立地条件は悪いが人気)のような施設整備。
 - ・駅近くで最後に買い物できる場所の誘致。
 - ・市場・レストランが併設した漁協を佐田浜に移転する。
 - ・有料の釣り場整備。かもめの散歩道に釣り客が多くなる一方で、管理が難しいという意見もあった。
 - ・パルビル駐車場。イベントスペース。新たな商業施設。
 - ・マリナーミナ2階:海への眺望を活かして、インバウンドも視野に入れたレストラン。

アンケート・ヒアリング調査より

	佐田浜地区	中心市街地	鳥羽城址地区	
			鳥羽城跡・城山公園	旧鳥羽小学校
個別	「みなと」を活かした交通結節点 新たな観光施設 マリニリゾート等 市民、離島住民のサービス施設	宿泊者だけでなく、市民・若者・スタッフなどの目線でも必要な機能やサービス 歩きたくなる機能 宿泊機能 働き手の受け入れ施設 市民のサービス施設	歴史文化施設 天守閣 温浴施設 アスレチックやハンモックがある公園	—
市民	日常生活に関連する購買施設や飲食店舗 観光関連施設		広場として活用 高齢者は 城郭の復元を希望	若者は賑わい・集客施設 高齢者は 歴史・文化を伝える場
高校生	日常生活に関する購買施設や飲食店舗 若者向け施設		広場として活用 もしくは今のままでよい	—
来訪者	美しい自然環境・景観の保全と、多彩な自然体験・交流の環境の充実			

各種調査やヒアリングにより、多くのニーズやアイデアが出てきた
個別の事業者目線ではなく、利用者(来訪者)目線で考えることが最重要

総花的・オールターゲットでなく

リードターゲットで考える

「将来の駅周辺エリアの利用者が望むこと」をどう考えるか

本日のワークショップで検討

①個人ワーク

将来
駅周辺エリアへの
来訪者が
なにをしたいか
を考える

来訪者になりきる

②グループワーク

テーマ1

来訪者の行動パターンや
駅周辺エリアでの過ごし方を
考える

来訪者になりきる

テーマ2

離島住民の
駅周辺エリアでの過ごし方
を考える

離島住民になりきる

将来の駅周辺エリアが
どんな場所にな
ってほしいか

将来の駅周辺エリアに
望まれるモノ・コト

がわかる

将来の駅周辺エリアの利用者（来訪者）

利用者の設定方針

- ・「ボリューム」「利用(通行)頻度」「市内消費額」を鑑み影響力の高い層
- ・現在は少数だが、将来的に増加することが見込まれる層も潜在的なターゲットとする

グループA	グループB	グループC
鳥羽水族館の主要客層である ファミリー層 (多世代含む)	神宮参拝のついで利用 シニア夫婦	日帰り旅行利用 若年層グループ
		
集客核である鳥羽水族館の メインターゲットであり 宿泊や飲食・お土産など 消費額も高い重要な利用者	鳥羽への期待度満足度の高い ロイヤルカスタマーであり 各スポットでの高単価消費が 見込める利用者	高い消費はないものの 流行に敏感な オピニオンリーダー になりうる利用者

グループA：ファミリー層の人物像

	母親	父親	長男	長女
年齢	40歳	40歳	12歳	5歳
性別	女性	男性	男性	女性
居住地	大阪市			
職業	専業主婦	会社員	小学生	幼稚園児
世帯構成	妻・夫、子ども2人、祖父母2人（70代）			
所得	一般層			
趣味嗜好	・ ゆっくり過ごしたい ・ 文学好き	・ アクティブ派 ・ お酒好き ・ グルメ好き	・ 普段はゲームばかり ・ 食べ盛り	・ 動物が大好き ・ 運動が大好き ・ おしゃれ好き
旅行スタイル	・ 家族旅行で周辺観光地を訪れる。 ・ 高齢の祖父母も一緒に楽しめるプランを重視。 ・ 交通アクセスが良く、子どもも高齢者も休憩しやすい環境を求める。			

グループB：シニア層の人物像

	夫	妻
年齢	63歳	59歳
性別	男性	女性
居住地	名古屋	
職業	無職（定年退職）	専業主婦
世帯構成	夫（75歳無職）、妻（73歳専業主婦） 子どもは独立	
所得	準富裕層	
趣味嗜好	・ 歴史好き。 ・ グルメ好き。	・ 自然好き。 ・ 鑑賞好き。
旅行スタイル	・ 年に1回は伊勢神宮を参拝、その後、鳥羽で宿泊するのが定番コース ・ ゆったりとした質の高い旅行を求めているので、予算は宿に費やすことがほとんどである ・ 同年代に比べるとアクティブで、夫婦で旅行が趣味	



グループC：若年層グループの人物像

	人物X	人物Y	人物Z
年齢	20歳	18歳	19歳
性別	女性	女性	女性
居住地	大阪市	大阪市	京都市
職業	大学生（アルバイト）	大学生	大学生（アルバイト）
世帯構成	父（50代正社員）、母（50代パート）	父（50代正社員）、母（50代正社員）	一人暮らし（実家：神戸市）
所得	一般層	一般層	一般層
趣味嗜好	・グルメ好き。 ・自然好き。	・アクティブ派。 ・スポーツ系。	・歴史好き。 ・ドライブ好き。
旅行スタイル	・サークルの友人やバイト仲間らとの小旅行が多く、なるべく安価で行ける場所を探している ・訪問前のSNSでのリサーチはマストで、グルメや景色など写真映えを重視		



将来の駅周辺エリア利用者（住民）

利用者の設定方針

- ・対象エリア内で特に、開発の方向性に影響度が高い「佐田浜エリア」に接点の多い層

全グループ

定期船で市内と行き来する

離島住民（鳥羽市民）

ボリューム、消費額は少ないが
定期的に通行・利用される
市民の中でも
考慮すべきターゲット

人物像	人物X	人物Y	人物Z
年齢	14歳	65歳	85歳
性別	女性	男性	女性
居住地	答志島	坂手島	答志島
職業	中学生	自営（漁師）	自営（民宿）
世帯構成	父（40歳、会社員）、 母（40歳、専業主婦）、 弟（9歳、小学生）祖父 母2人（60代）	妻（69歳）	単身
所得	一般層	一般層	準富裕層
ライフスタイル	・本土の中学に通学。 ・バスケ部。 ・定期船が欠航したときには、弟と一緒に知り合いの家に泊めてもらうこともしばしば。	・本土へは、週に2-3回の買い物、週に1回の通院が主な目的。 ・伊勢市内に娘夫婦が暮らしている。	・本土へは、週に1回の買い物、週に2回の通院が主な目的。 ・国内外から離島の体験を求める旅行者を受け入れている。
趣味嗜好	・アクティブ ・動画配信にはまっている	・愛妻家 ・侯約志向。 ・料理が趣味	・鳥羽に誇りを持っている。 ・高級志向。

個人ワークのやり方

考えること:「将来駅周辺エリアを使う来訪者」が、なにをしたいか

例えば以下の「将来、駅周辺エリアを使う来訪者」になりきった場合…?

- ・大阪に住む4人家族の母親(40歳)
- ・娘の希望で週末に鳥羽水族館に遊びに来た
- ・鳥羽に来たことがないので、有名観光地(鳥羽水族館、離島、石神さん)を巡りたいと思っている。



1.以下のシチュエーションを想像する

素泊まりで過ごす夜の時間

- ・1泊2日
- ・滞在時間帯:17:00-22:00

志摩に行くついでに
立ち寄る2~3時間

- ・日帰り
- ・滞在時間帯:10:00-13:00

鳥羽駅について旅館に
チェックインするまでの2~3時間

- ・1泊2日(食事あり)
- ・滞在時間帯:12:00-15:00

2.各シチュエーション下で“「将来駅周辺エリアを使う来訪者」が、なにをしたいか”を付箋に書き込む

※イメージ

ゆっくりお酒を飲
みながら鳥羽の海
鮮を味わいたい。

海の景色・風を感じ
たい。

水族館ショーを
楽しみたい。

海と離島の景色、
海風を感じたい。

海の景色を見たい。

駅を降りてすぐ海
の景色や風を感じ
たい。

自然をめいっ
ぱい感じたい。

※注意事項

・黄色の付箋を活用して、コメントを書いてください

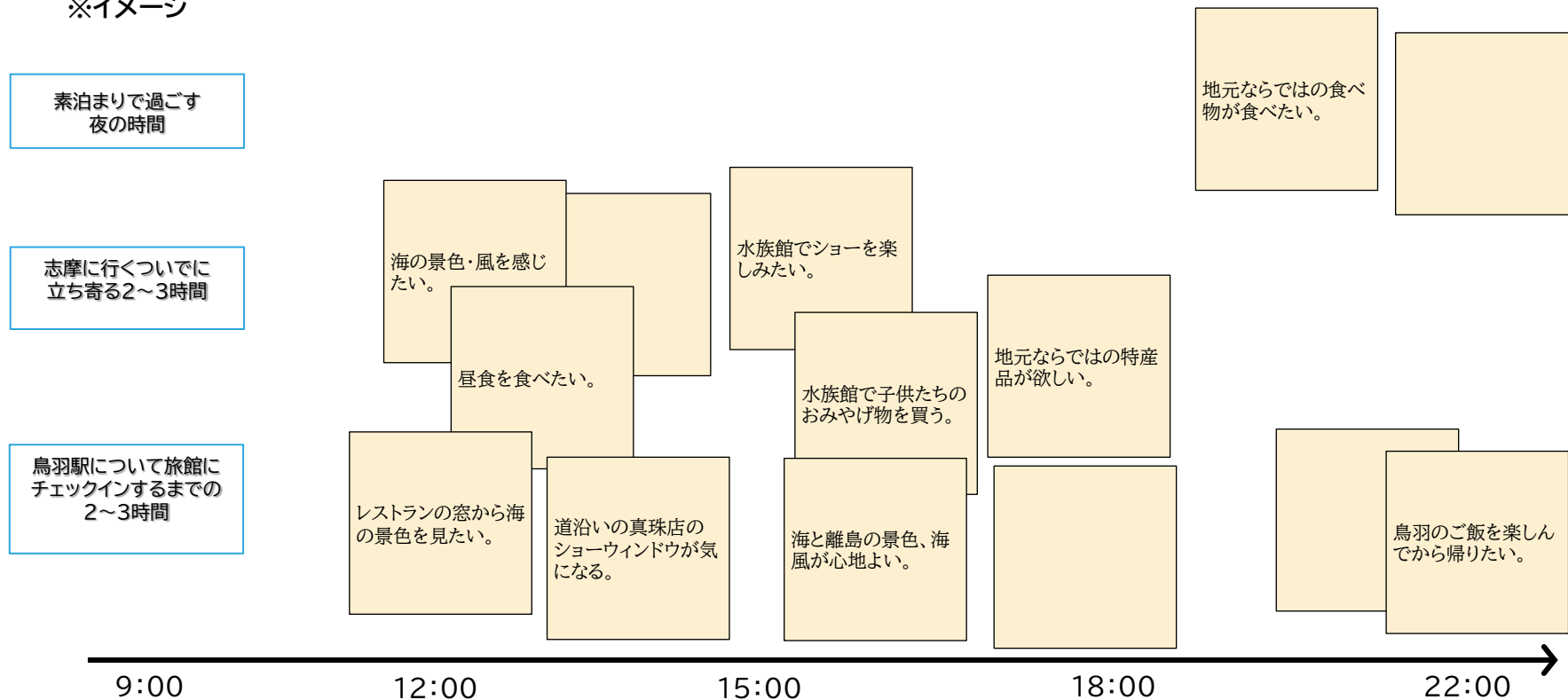
〇〇で
〇〇したい

〇〇を
感じたい

グループワーク【テーマ1】のやり方

考えること:与えられたシチュエーションにおける
「将来駅周辺エリアを使う来訪者」スケジュール ※実際のルートも考えながら

※イメージ



10時:鳥羽駅を降りてすぐに海の景色や風を感じて、鳥羽にきた実感が湧く。

11時:駅のすぐ近くの施設で昼食。鳥羽の海鮮をカジュアルに楽しむ。レストランの窓からは海の景色が見える。

12時:徒歩で鳥羽水族館に向かう。道中は海の向こうに見える離島の景色や海風が心地よい。水族館ではショーを楽しみ、子供たちのおみやげ物も購入。

14時:駅に向かう途中、道沿いの真珠店のショーウィンドウが気になる。ランチで食べた海鮮を家でも楽しみたいため、日ごろの料理に使える地元ならではの特産品を購入。

18時:電車に乗る前に、駅の近くで腹ごしらえ。駅の近くには複数の魅力的な飲食店・土産物屋が集積していて選びやすく便利。

グループワーク【テーマ2】のやり方

考えること：離島住民の駅周辺エリアでの過ごし方



例えば以下の「離島住民」の立場で考えると・・・？

- ・坂手島に住むシニア夫婦の夫(65歳)
- ・本土へは、週に2-3回の買い物、週に1回の通院が主な目的
- ・伊勢市内に娘夫婦が暮らしている

1.以下のシチュエーションを想像する

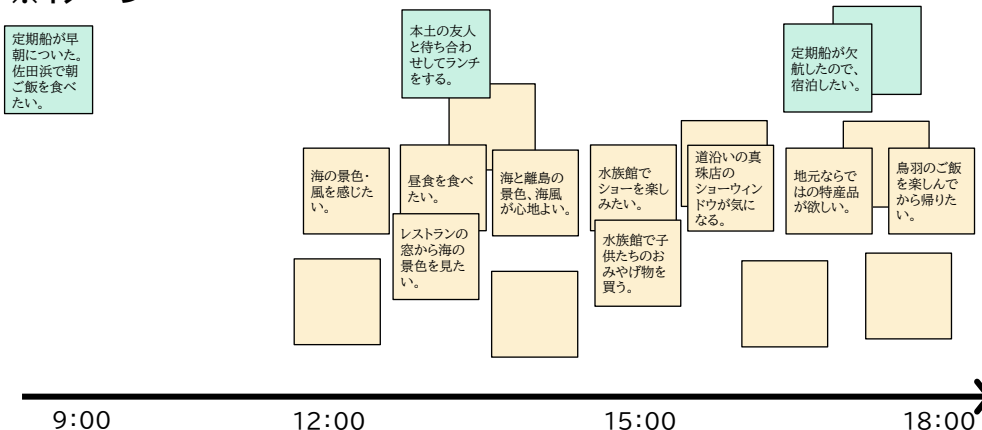
定期船を降りてから目的地
までの時間のつぶし方

離島への帰路
定期船に乗るまでの1時間

定期船の最終便を逃した一晚

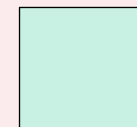
2. “離島住民が駅周辺エリアでどのように過ごしたいか”を付箋に書き込み、模造紙に貼っていく

※イメージ



※注意事項

・**緑色**の付箋を活用して
コメントを書いてください



①個人ワーク

「将来駅周辺エリアを使う来訪者」になりきって、
その人の「したいこと」を考える

質 問

〇〇が佐田浜に訪れたときに
「したいこと」は何ですか。

15分間

②グループワーク
【テーマ1】

個人ワークの結果を、そう思った理由とともに
グループのメンバーに発表しましょう。

来訪者の行動パターンを
実際のルートも考えながら、時系列に並べましょう。

駅周辺エリアが、来訪者にとって
どんな場所になればよいかをグループで議論しましょう。

20分間

②グループワーク
【テーマ2】

離島住民の駅周辺エリアでの過ごし方について
グループで意見を出し合いましょう。

10分間

③各グループから発表

1チームあたり持ち時間8分

タイムスケジュール

